

神奈川県南支部のホームページは（[全日本建設交運一般労働組合 \(ctg-kennan.net\)](http://ctg-kennan.net)）をクリックか右のQRコードからアクセスできます。分会・班の仲間は多くの労働者に広げてください。



2026年10月1日

かながわけんなんしふ

建交労神奈川県南支部

2026年秋季年末闘争No.3

2025年度推進ニュース⑤通算426

発行責任者 小島 茂

2026年秋季年末闘争への結集を強めよう！ 10/7は年末一時金要求の全国一斉提出日

建交労は現在、全労連や春闘共闘の仲間とともに2026年秋季年末闘争を展開しています。その重点課題である年末一時金闘争は10月7日(水)に全国いっせい要求提出を行って本格的なたたかいに入ります。春闘での賃上げや夏季一時金では物価の上昇から大きく取り残され、今後も物価上昇の大波がつづきます。年末年始を安心して迎えられる年末一時金獲得に向けて統一闘争への結集を強めましょう。まずは10月7日に要求を提出することが出発点です。

また、2027年春闘に向けた「要求アンケートと対話」を全組合員の参加で取り組みましょう。この運動は、要求の根拠や正当性を会社や社会にアピールし、共同の輪を広げ、組織を活性化させて仲間を増やす運動でもあります。全分会・全組合員の奮闘を呼びかけます。

イワサワ分会の仲間が第3回勤通大学学習会開催！



2026年の勤労者通信大学入門コースを受講したイワサワ分会の横尾さんと嘉倉さんは9月30日に第3回目の学習会をチューターの赤羽氏とともに支部事務所があるビルの集会室で行いました。横尾さんは第2回目の(修了)テストを既に提出済みで、嘉倉さんも提出準備は整っているとのこと。

この日の学習会では、日々の「生活」の大切さと人間の尊厳についての理解、資本家が利潤を独占する「搾取の」仕組み、労働組合運動の大切さなど、重点を絞って過去2回の学習を振り返ってテキストの理解を深めました。学習会の最後にお二人から以下のコメントがありました。

横尾さんは、「(勤通大入門コースの)学習をとおして『団結の大切さをよく理解できた』しかし、現実には労働者の団結が弱くなっている。組合費の問題を含めて労働組合への加入には消極的な労働者が多い。どうしたら団結を強められるかが問題だと思う」と率直に語ってくれました。

嘉倉さんは「学習するなかで、労働と労働力の違いや労働者の労働によって利潤が生みだされ、その利潤が資本家に搾取される仕組みが、より深く理解できた。」と話してくれました。

横尾さんと嘉倉さんの半年間にわたる奮闘に敬意を表します。お疲れさまでした。そして、これからも学習活動を継続し、自らの「生活」と労働組合運動を大切にしていきたいと思います。